

グローバル調達体制によるグリーン調達

富士通グループでは、お客様に環境負荷の少ない製品・サービスを提供するために、グローバル調達体制によるグリーン調達をお取引先とともに推進し、地球環境の保全に努めています。

富士通グループ グリーン調達基準

富士通グループは、環境に配慮した部品・材料や製品の購入に関する基本的な要求事項を「富士通グループグリーン調達基準」としてまとめ、国内外のお取引先とともにグリーン調達活動を推進しています。

- [富士通グループ グリーン調達基準](#)

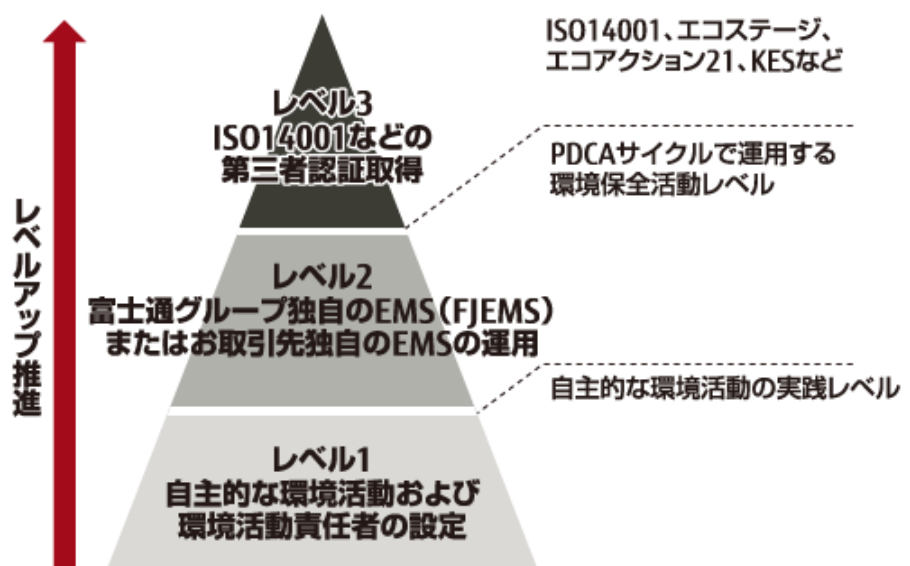
お取引先に求めるグリーン調達の要件

富士通グループでは、グリーン調達活動の要求事項として、お取引先に以下の要件を満たすことをお願いしています。

環境マネジメントシステム（EMS（注1））の構築

お取引先における環境負荷低減活動を継続的に実践していただくため、お取引先にEMSの構築をお願いしています。EMS構築レベル（下図参照）は定期的な調査によって確認しています。回答結果がレベル1のお取引先には希望により富士通グループ独自のEMS（FJEMS（注2））を提供し、第三者認証によるEMS構築（レベル3）までのレベルアップを支援しています。

グリーン調達におけるEMS構築



(注1) EMS：
環境マネジメントシステム（Environmental Management System）の略。

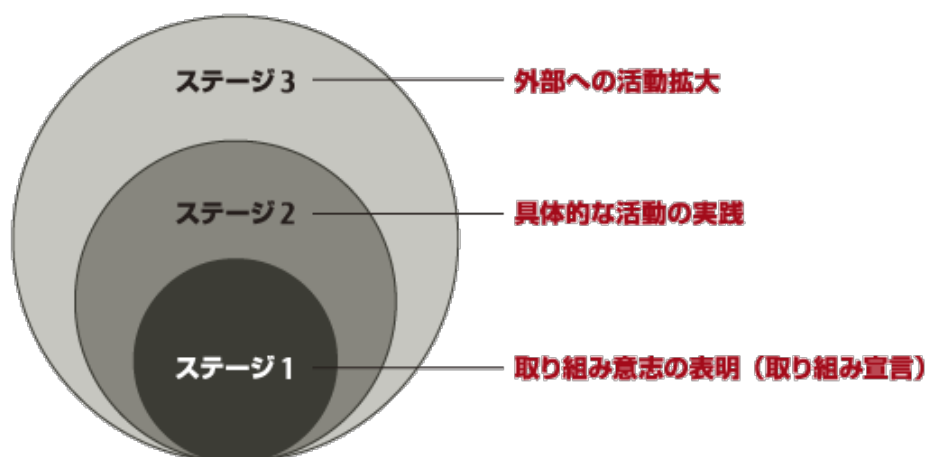
(注2) FJEMS：
ISO14001の要求事項を絞り込み、PDCAに沿った環境保全活動が根付くことを主眼とした富士通グループ独自のEMS。

「CO₂排出抑制／削減」と「生物多様性保全」への取り組み推進

第6期環境行動計画（2010年度～2012年度）では、「CO₂排出抑制／削減」および「生物多様性保全」をテーマに、「部材系お取引先の取り組み実施率（社数ベース）を2012年度までに100%とする」という目標を掲げ、お取引先に「CO₂排出抑制／削減」は具体的な活動を実践する「ステージ2」以上を、「生物多様性保全」は取り組み意思を表明する「ステージ1」以上の取り組みをお願いしてきました。

活動の評価指標を策定

「取り組みステージ」という3段階の独自指標を設定し、お取引先にご協力をお願いしています。



お取引先自らが自社で実施すべき取り組みを考え、活動できるよう、富士通も積極的に支援しています。これまで、電力使用量由来のCO₂排出量を算出し、数値目標に対する進捗状況をモニターできるツールを提供したほか、生物多様性保全の基礎知識や活動の説明・事例などをわかりやすくまとめたガイドラインおよび生物多様性保全の取り組みを認識できるチェックツールを作成し、提供してきました。

さらに、これらのテーマに関する気づきを得ていただく場として、セミナーも開催しました。セミナーでは、取り組みの必要性や取り組み事例を説明するとともに、演習も実施しています。セミナーは2010年度から2012年度の3年間に8回開催し、お取引先75社が参加されました。

海外のお取引先に対しては、世界中の企業が取り組むべき課題であることを説明し、理解を得ながら活動を支援してきました。その結果、2013年1月には国内外を含めた取り組み実施率が100%となり、第6期の目標を達成しました。

トピックス

お取引先参加型の環境保全活動を開催

2011年度の開催が好評だったことを受け、2012年度も10月に東豊田緑地保全地域（東京都日野市）で、富士通購買本部主催の環境保全活動を開催しました。少しでも多くのお取引先に、生物多様性保全の取り組みを開始するきっかけにさせていただきたいという思いで企画したものです。

お取引先10社22名にご参加いただき、当社社員と合わせて40名でアズマネザサ刈りや間伐を行いました。また、緑地内を散策しながら、NPOスタッフより生物多様性保全の意義についてレクチャーを受け、人と自然の関わり合いへの理解を深めていただきました。このようにビジネスシーン以外でお取引先と当社とのコミュニケーションを図ることは、パートナーシップの強化にもつながると考えています。



環境保全活動の様子

第7期環境行動計画の目標について

富士通グループでは、2013年度からスタートする第7期環境行動計画においても、バリューチェーンの上流における「CO₂排出抑制／削減」の取り組みを、企業として取り組むべき重要課題と認識しています。そこで、今後はソリューションサービスなど部材系以外のお取引先に対しても働きかけを拡大していきます。また、「生物多様性保全」については、引き続きお取引先への活動浸透に努め、お取引先とともにグリーン調達活動に取り組んでいきます。

含有化学物質管理システム（CMS（注3））の構築

お取引先において化学物質を適正に管理していただくため、業界標準であるJAMP（注4）の「製品含有化学物質管理ガイドライン」に基づく含有化学物質管理システム（CMS）の構築をお願いしています。具体的活動として、富士通グループの部材系お取引先の製造拠点を監査し、管理体制が不十分だった場合は是正の要請と支援を行うことで、サプライチェーンにおける製品含有化学物質の管理を強化しています。また、CMS構築が確認できたお取引先に対しては、定期的に運用状況を監査し、継続的に運用状況を確認しています。富士通グループでは、今後も法規制遵守のため、お取引先のCMS構築活動を継続していきます。

（注3） CMS：
化学物質管理システム（Chemical substances Management System）の略。

（注4） JAMP：
アーティクルマネジメント推進協会（Joint Article Management Promotion-consortium）の略。

製品の含有化学物質管理における、お取引先との協働

富士通グループは、欧州のREACH規則をはじめ、今後日本や世界で要求される新しい化学物質規制に対応するため、2011年6月からJAMPが策定したAIS（注5）、MSDSplus（注6）による調査を実施しています。調査に先立ち、同年5月に国内の加工系お取引先73社、6月に中華圏のお取引先17社を対象に、AISの作成方法に関する説明会を実施しました。説明会ではパソコンを用いた演習を行い、AISの作成方法を習得していただきました。



説明会（国内）の様子

調査は、製品設計時、設計変更時、取引先変更時に実施しています。また、2012年1月にAIS（MSDSplus）の最新版である Ver.4.0が公開されたことから、富士通グループは、2012年度に新バージョンのAISを用いた含有化学物質調査 約12,000件をお取引先に依頼しました。

お取引先と富士通グループとの間は、インターネット調達を実現する富士通グループ製品「ProcureMART」（注7）で連携し、購買業務と化学物質調査を1つのインターフェースで実現しています。また、お取引先から送られた化学物質情報の管理には、富士通グループ製品「PLEMIA/ECODUCE」（注8）を活用し、グループ内で情報を共有しています。

富士通グループは、JAMPなどの業界団体が推進するグリーン調達調査の標準化活動に積極的に参画しており、今後もサプライチェーンにおける調査の効率化を推進していきます。

（注5） AIS：

成形品に含まれる化学物質情報を伝達するための情報伝達シート（Article Information Sheet）の略。

（注6） MSDSplus：

化学物質・調剤に含まれる化学物質情報を伝達するための情報伝達シート（Material Safety Data Sheet plus）の略。

（注7） ProcureMART：

生産材の調達業務をインターネットで実現するサービス。

（注8） PLEMIA/ECODUCE：

製品含有化学物質管理システム。

環境技術による製品価値向上への取り組み（環境技術提案の募集）

富士通では、グリーンICTの提供を通じた環境負荷低減プロジェクト「Green Policy Innovation」を実現するために、お取引先から環境技術や材料の提案を募集しています。

お取引先からいただいた提案内容については、評価検討部門で評価し、すぐれた案件については設計開発部門にタイムリーかつ横断的に採用を提案します。また情報はすべて社内データベースに蓄積し、富士通社内で共有・展開しています。富士通では、今後もすぐれた環境技術や材料を積極的に採用し、環境性能にすぐれた製品の開発と提供を推進していきます。

なお、富士通の求める環境技術や提案の方法の詳細については、下記URLをご参照ください。

- [環境技術提案の募集について](#)

「Green Policy Innovation」実現のためのインフラ構築

